

2023年度

通常支部総会議案書

2023年5月9日
藤沢商工会館ミナパーク 6階多目的ホール

2022年度・2023年度 藤沢支部スローガン

安全は一人ひとりの意識から
世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場

< スローガン入選作品：いすゞ自動車(株)藤沢工場 須藤 泰佑氏 >

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会
藤 沢 支 部

2023年度 通常支部総会 資料 目次

2023年度 通常支部総会次第	P1
第1号議案 2022年度事業報告	
1. 概況	P2～P4
2. 支部活動実施状況	
(1)支部役員会 (2)支部役員幹事会 (3)常設部会等 (4)他団体会議	P5～P10
(5)行事および事業	P11～P14
3. 会員事業場数の推移と構成	P15
4. 表彰	P16
第2号議案 2022年度収支決算報告並びに会計監査報告	
1. 2022年度 正味財産増減計算書(総括表)	P17
2. 2022年度 正味財産増減計算書(内訳書)	P18
3. 2022年度 貸借対照表	P19
4. 2022年度 財産目録	P20
5. 計算書類に対する注記	P21
6. 2022年度会計監査報告	P22
第3号議案 2023年度事業計画(案)	
1. 概況と基本方針	P23～P24
2. 行事計画および事業計画	P25～P26
第4号議案 2023年度収支予算(案)	P27
第5号議案 2023年度支部役員(案)	
1. 2023年度 役員事業場(案)	P28
2. 2023年度 本部理事 及び 本部部会・委員会(案)	P28
3. 2023年度 役員担当(案)	P29
付 録	
1. 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部 規約	P30～P35
2. 会費に関する細則	P36
3. 映像教材一覧表(DVD/VIDEO)	P37～P38

2023 年度 通常支部総会 次第

1. 総会開会の辞
2. 総会成立宣言
3. 支部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人 任命
6. 議 事
 - (1) 第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件
 - (2) 第 2 号議案 2022 年度収支決算報告並びに会計監査報告承認の件
 - (3) 第 3 号議案 2023 年度事業計画(案)承認の件
 - (4) 第 4 号議案 2023 年度収支予算(案)承認の件
 - (5) 第 5 号議案 2023 年度支部役員(案)承認の件
7. 議事録署名人 解任
8. 議長 解任
9. 来賓者祝辞
10. 総会閉会の辞

<表彰式>

1. 2022 年 藤沢支部無災害事業場表彰
2. 2022 年度 藤沢支部功労者表彰

『第1号議案』

2022年度 事業報告

1. 概況

2022年度も、国内では新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた1年でありました。一方世界に目を向けて見ますと、感染拡大も落ち着きだし殆どの国では規制も緩和され、マスクを着用している姿も殆ど見受けられなくなりました。国内でも遅ればせながら3月13日から、マスクの着用は基本的にこの判断に委ねられ、5月8日には感染症法上に位置づけで2類相当から、季節性インフルエンザ同様の5類へ移行されます。これらの緩和が齎す国内のインバウンドによる需要予測は4.96兆とコロナ前を上回る予想となると見込まれています。従いまして、いよいよ本格的なwithコロナとしての始動開始となります。

経済を振り返ってみますと地政学上の問題でウクライナ紛争が続いています。ヨーロッパの近隣国では一部のライフラインが途絶え一気にインフレ上昇に陥り世界を巻き込んでいます。日本でも電気料金や食料品を始め、身の回りの物価が急激に高騰しています。この事を受け、賃金の引き上げや働き方の改善などを推し進め、雇用と生活の安定、労働条件の向上に向けて努力している企業も多いのではないのでしょうか。春闘においては元来のベア交渉では考えられないようなアップ幅であり、経営に携わる方々は従業員の生活を守る為の方策に大変苦慮されたのでは無いのでしょうか。

さて、本年度から新たに「第14次労働災害防止計画」がスタートしました。残念ながら第13次災害防止計画につきましては目標値に達する事ができず、神奈川県内でも未達に終わりました。これはコロナウイルス感染により災害が増えたことが一つの要因ではありますが、依然として建設業、製造業での災害。特に転倒・転落・巻き込まれ・挟まれ等の重篤災害に繋がるものが後を断ちませんでした。また近年の傾向では「高齢者雇用」においての特徴的災害である“躓き”等から来る災害も増えています。第14次労働災害防止計画の目標である「国、事業者、労働者等の関係者が一体となって、一人の被災者も出さない」という基本理念の実現に向け、神奈川県内でも計画期間内での達成を目指さなくてはなりません。

当藤沢支部の運営状況につきましては昨年度から徐々に回復して参りました。特に出張講習頂きました効果は大きな成果を得ております。これも一重にご協力頂きました会員事業者様のご尽力のお陰であり感謝申し上げます。今後についてですが、新型コロナウイルスについて規制緩和が大きく進みましたが、完全に収束したわけでは有りません。支部としましては「研修・教育」「各行事」等を行う際は内閣府の方針の元、引き続き感染症対策を行い積極的に進めてまいります。

以下に、年度当初にご承認をいただきました活動計画に沿って、報告させていただきます。

(1) 時宜に対応した実効ある支部活動の推進

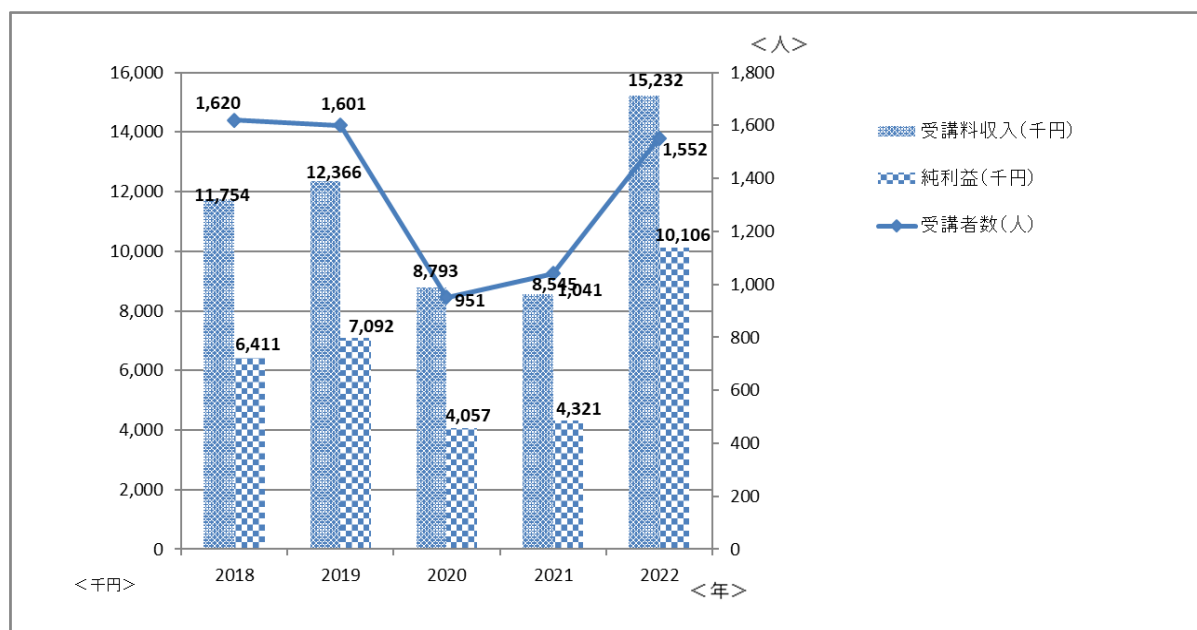
昨年6月下旬ですが、支部長会社にて藤沢労働基準監督署及び関係方をお迎えし、労働災害防止についての視察会を行いました。奇しくも同時期に死亡災害が立て続けに起きてしまい、この事から藤沢労働基準監督署殿から「緊急要請」が当支部長宛に発せられました。これを受け支部でも独自に注意喚起文を作成し「お願い」として会員事業場へ展開致しました。また年末には管内での労働災害増加を受け「労災防止についての注意喚起」を「お願い」同様に展開致しました。また、藤沢労働基準監督署殿からは、各研修・講習前の労働災害防止についての注意喚起を賜りました。

7月からは「各教育・研修」の質向上を目指し、受講者へのアンケート調査を行いました。

事業活動では、11月からは引き継ぎもないままの船出となりましたが、本部・支部長始め関係各位のサポートの元、収益を落とすこと無く決算を迎えることが出来ました。また各常設部会を中心にすべて計画通りに実施させて頂きました。

また、業務の効率化を目指し、応募が無い。若しくはそれに等しい講習・研修について考察し（いわゆる断捨離）、効率良い収益確保が実現できました。

(表1) 過去5年間の講習会の事業推移



(2) 第三次産業及び小規模事業場への会員拡大の働きかけ

第三次産業及び小規模事業場への対応や未加入事業場の協会加入の働きかけは、「安全衛生推進者養成講習会」や「安全管理者選任時研修」等の講習会、研修会を広く周知し実施するなど、積極的に行ってまいりました。

また、藤沢労働基準監督署にご協力をいただき、経営者セミナーでは「労働基準行政の現状と今後」をテーマとした基調講演を開催するなど、多くの企業の意識改革を図りました。支部のホームページや広報誌でも、協会加入のメリットや各種行事・講習会の主旨を掲載し、会員拡大の働きかけを継続的に実施してまいりました。

(3) 行政及び関係団体との連携強化

藤沢労働基準監督署をはじめとする行政機関の諸施策に対し、会員事業場への働きかけを行うとともに、行政運営方針の橋渡しを推進してまいりました。神奈川労働局より発信される法令・規則等の改正案内や協力要請に関する通達の会員事業場への展開をはじめ、各種講習会や各部会へ藤沢労働基準監督署より積極的なご参加をいただき、時宜に応じたご指導をいただくことで、連携をさらに強めることが出来たと感じます。また、本部主催の神奈川大会につきましては前年度同様、オンデマンド配信による開催となりましたが、当支部においては、273名の申し込みとなり多数ご参加頂けたこと大変感謝いたします。引き続き、様々な効果のある講習会や行事を開催してまいりたいと考えております。

(4) 公益社団法人としての適正かつ健全な神奈川労務安全衛生協会藤沢支部運営

会員事業場の皆様のご意見、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部としての適正かつ健全な支部運営を行ってまいりました。また、前年度指摘されました「不適切行為」の事案や再発防止策が形骸化されることが無いよう、本部及び支部長と連携し確実に実行して参ります。

(5) 会員減少組織対策

2022年度の新規入会事業場は4社に対し退会事業場は6事業場あり、総数318から316事業場となり微減では有るものの会員が減少する傾向はここ近年変わっておりません。移転、閉鎖等による歯止めは無理としても、今後も更に会員事業場の皆様が参加しやすい講習会の開催や時宜に応じた取り組みを企画し、会員減少に歯止めをかける手立てを行うことが必須と考えております。本部や藤沢労働基準監督署のご指導を仰ぎながら、会員事業場の皆様方のお力添えを賜りたいと思っております。

最後に、2022年度2023年度の支部活動のスローガンは、「安全は一人ひとりの意識から世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場」であり、みんなで安全を意識して安心して働きやすい職場環境を目指すように、労務・安全衛生対策の推進を提唱してまいります。新型コロナウイルス感染予防に努めながら、当支部の事業運営をほぼ計画通りに進めることが出来たのは、藤沢労働基準監督署、協会本部、会員事業場の皆様方のご指導とご支援の賜物と、支部長事業所としてあらためて感謝申し上げます。

一方で、2022年度の安全成績は全国同様に藤沢労働基準監督署管内でも悪化しており、「第14次労働災害防止推進計画」の初年度にあたっては、とにかく災害防止のために全力で労務安全衛生活動を推進しなくてはならないと認識しております。そのためには、当協会も適正で充実した労務安全衛生活動を行えるように事業運営にあたってまいりますので、今後も皆様方の一層のご指導、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2. 支部活動実施状況

(1) 支部役員会＜会場：藤沢市建設会館＞

開催年月日	議 事 ・ 審 議 事 項 等
4月15日 藤沢市建設会館 4F 大会議室 WEB会議	- 開会の挨拶 岩井支部長 - 藤沢労働基準監督署 署長挨拶・人事異動に伴う新任者挨拶 藤沢労働基準監督署新任署長・副署長挨拶・課長挨拶 - 支部役員交代による新役員紹介 石田支部長代行より交代役員ならびに変更箇所について報告 - 藤沢労働基準監督署の助言・指導 - 議題 - 本部報告事項 - 令和4年度神奈川労務安全衛生について - 令和4年度神奈川地区出張特別試験の会場変更について - 通常総会5月27日(金)に開催 - 専門部会(労務部会2/9・安全部会2/3・衛生部会2/4・広報部会2/19) - 支部報告 2022年度通常支部総会について - 常設部会報告 - 連絡事項 会員事業数について 4月1日現在で、319社 - 閉会の挨拶 通山副支部長
12月9日 藤沢市建設会館 4F 大会議室	- 開会挨拶 通山支部長 - 藤沢労働基準監督署挨拶 助言・指導 長瀬署長より - 議題 - 支部連絡会(12/2) - 専門部会(労務部会11/10・安全部会11/9・衛生部会11/16・広報部会) - 企画部会(11/24) - 審議事項 ①労務安全衛生協会藤沢支部規定について ②事務局長選任について ③2022年度事業計画(案) ④2021年度収支報告(11月末現在) ⑤2021年度技能・教育講習収支報告(11月末現在) - 報告連絡事項 1) 令和4年度神奈川労務安全衛生大会 2) 全国産業安全衛生大会 3) 2023年安全衛生祈願 4) 「2021年藤沢支部 無災害事業場表彰」制度 5) 2022年度 通常支部総会 - 他団体会議報告 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡会・協議会 2) 湘南地区産業保健連絡協議会 - 閉会挨拶 寶角副支部長代行
3月24日 藤沢市建設会館 4F 大会議室	- 開会挨拶 通山支部長 - 藤沢労働基準監督署挨拶 長瀬署長より - 藤沢労働基準監督署助言・指導 遠藤安全衛生課長より - 議題 - 本部報告事項 - 支部連絡会(3/3) - 支部事業 2022年度収支予測(2月末現在) ①2022年度収支報告 ②2022年度技能・教育講習収支報告 - 審議事項 ①2023年度藤沢支部運営について(コンサルタント契約) ②2023年度通常支部総会議案書(案) ③2023年度支部功労者推薦(案) - 報告連絡事項 - 事務局報告 ①会員事業場数報告(3/24:316社・3/1:1社入会) ②2022年藤沢支部 無災害事業場表彰申請事業数 4事業場申請 ③2023年度 藤沢支部事業予定および講習会等開催予定 ④2023年2月28日実施藤沢支部業務監査について - 他団体会議報告 1) 藤沢地域陸運事業者及び荷主等連絡連絡会・協議会(2/27) 2) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会(2/27) 3) 湘南地区産業保健連絡協議会(3/9) - 閉会挨拶 森支部長代行

(2) 支部役員幹事会＜会場：藤沢商工会館ミナパーク＞

開催日・会場等	議 事 ・ 審 議 事 項 等
5月31日 ミナパーク 505会議室	1. 役員交代による新役員紹介 2. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 3. 議題 (1) 本部報告事項 1) 第38回・39回理事会(4/26・5/11)報告 2) 第1回支部連絡会議(5/13) 3) 専門部会開催予定(労務部会5/12・安全部会5/16・衛生部会5/18・広報部会17) (2) 支部事業 1) 常設部会報告 (労務部会5/20・安全部会4/21・衛生部会4/7・広報部会5/16) 2) 行事及び事業報告・計画 ① 支部事業予定 ② 支部講習会等開催予定 3) 会員事業数(3月末:318社) 4月1日 318社(4/1:入会2社・退会2社) (3) 審議事項 1) 「令和4年度神奈川労務安全衛生功労賞」候補者推薦 (4) 他団体会議報告 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(4/25) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(5/12)
10月26日 ミナパーク 301号室	1. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 2. 議題 (1) 本部報告事項 1) 専門部会(企画部会:8/25・:労務部会8/18・安全部会8/4 ・衛生部会8/24・広報部会6/25.9/17) 2) 支部連絡会議(10/14) (2) 支部事業 1) 常設部会報告 (労務部会・安全部会・衛生部会7/29・広報部会7/15) 2) 行事及び事業報告・計画 ① 支部行事広告・計画 ② 常設部会行事広告・計画 (3) 連絡事項 1) 2021年度上期収支報告(4月-9月) ① 会員事業場数報告(10/1:318社・9/30 1社退会) ② 2022年度上期収支報告 ③ 2022年度上期技能・教育講習収支報告 2) 「2021年藤沢支部 無災害事業場表彰」制度の案内 (4) 他団体会議報告 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(10/25) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(11/10)
2月22日 ミナパーク 507会議室	1. 藤沢労働基準監督署の助言・指導 2. 議題 (1) 本部報告事項 1) 本部報告連絡事項 ① 令和4年度支部活動費 ② 令和5年度主要行事予定 2) 専門部会開催予定(企画部会2/17・労務部会2/9・安全部会2/8 ・衛生部会2/15・広報部会12/17・3/18) (2) 支部事業 1) 2022年度収支報告(2023.1月末) ① 2022年度収支報告 ② 2022年度技能・教育講習収支報告 2) 常設部会報告 (労務部会1/26・安全部会11/10 ・衛生部会12/9.3/2・広報部会12/9.2/10) (3) 審議事項 1) 2023年度事業計画(案) 2) 2023年度収支予算(案) 3) 2023年度通常支部総会 (4) 連絡・報告事項 1) 会員事業場数報告(2/21:318社) 2) 2022年藤沢支部 無災害事業場表彰申請事業数(4事業場申請) (5) 他団体会議報告 1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡連絡会・協議会(2/27) 2) 湘南地区産業保健連絡協議会(3/9)

(3) 常設部会等

1) 労務部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク、藤沢労働基準監督署 4F会議室、他>

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
5月20日 501会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 本部、支部関係報告 3. 労務管理セミナー実施案検討(実施日：9/16)
7月13日 藤沢労働基準監督署 4F会議室	1. 2022年度支部長方針説明 2. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 3. 労務管理セミナー実施案検討(実施日：9/16)
11月16日 藤沢市建設会館 4F 大会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 2023年2月の労務管理セミナー実施内容について 3. 事務局より連絡事項
1月27日 ミナパーク 507会議室	1. 藤沢労働基準監督署からの伝達/連絡事項 2. 2023年2月の労務管理セミナー実施内容について 3. 事務局より連絡事項

2) 安全部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
4月21日 WEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 本部、支部関係報告 3. 安全部会事業について (1) 今後の事業確認(8事業) (2) その他 4. 審議事項 (1) 第95回全国安全週間湘南地区推進大会役割分担について (2) フルハーネス型墜落制止用器具特別教育追加講習担当について
7月14日 WEB会議	1. 2022年度支部長方針説明(通山支部長) 2. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 3. 本部、支部関係報告 4. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(10事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(10事業) (3) その他
11月11日 301号室および WEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 本部、支部関係報告 3. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(9事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(11事業) (3) その他 4. 審議事項 講習会アンケートについて(山下事務局長代行)
3月10日 301号室および WEB会議	1. 藤沢労働基準監督署よりの伝達、連絡事項 2. 本部、支部関係報告 3. 安全部会事業について (1) 事業結果報告(11事業)と確認(反省点、改善点など) (2) 今後の事業確認(2事業) (3) 講習会アンケートについて(山下事務局長) (4) 本部安全部会報告(杉崎氏) 4. 審議事項 講習会実施要領改訂について(坂本部長)

3) 衛生部会 <会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
4月7日 WEB会議	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 衛生部会役員・部会員の交代 3. 衛生部会事業確認 4. 今後の会議等予定 5. 事務局からの連絡事項
7月29日 藤沢商工会館 ミナパーク 3 F 301号室	1. 支部長方針伝達 2. 藤沢労働基準監督署連絡事項 3. 支部報329号執筆担当者確認 4. 全国労働衛生週間推進大会役割分担と段取り確認 5. 衛生支部事業結果報告(3事業)と今後の事業確認(9事業) 6. 健康づくり研修会&認定産業医研修会、研修内容審議 7. 事務局からの連絡事項
12月15日 藤沢商工会館 ミナパーク 5 F 506号室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. かながわ2月号執筆担当者確認 3. 衛生支部事業結果報告(9事業)と今後の事業確認(3事業) 4. 事務局からの連絡事項 5. 今後の会議等予定
3月2日 藤沢商工会館 ミナパーク 6 F 多目的ホール1	1. 藤沢労働基準監督署からの連絡事項 2. 衛生支部事業結果報告(3事業) 3. 2023年度事業計画と役割分担確認 4. 事務局からの連絡事項 5. 今後の会議予定

4) 広報部会<会場：藤沢商工会館ミナパーク>

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
4月13日 WEB会議	1. 支部報327号の発行計画確認
5月16日 WEB会議	1. 支部報327号の編集・校正 2. 支部報328号の発行計画確認
6月17日 WEB会議	1. 支部報328号の編集・校正 2. 支部報329号の発行計画確認
7月5日 WEB会議	臨時開催 1. 支部報329号の編集・校正
9月15日 WEB会議	1. 支部報329号の編集・校正 2. 支部報330号の発行計画確認
12月9日 WEB会議	1. 支部報330号の編集・校正
2月10日 藤沢商工会館 ミナパーク 3 F 302号室	1. 2023年度役員体制および役割分担確認 2. 2023年度支部報、活動計画日程確認 3. 藤沢労働基準監督署副署長との意見交換 4. 支部報の内容見直し等についての意見交換 5. 「新入社員等(雇入時)安全衛生教育」の段取り・役割等確認
2月20日 藤沢商工会館 ミナパーク 3 F 301号室	臨時開催 1. 2023年度役員体制および役割分担確認 2. 「新入社員等(雇入時)安全衛生教育」の段取り・役割等確認

5) 物流対策委員会(安全部会下部組織)

開催予定日	議 事・ 審 議 事 項 等
8月4日	1. 委員会委員紹介 2. 藤沢労働基準監督署連絡事項 3. 藤沢地域陸運事業者及び荷主等における連絡協議会(7/25)報告 4. 荷役災害防止の取組(事例)状況・問題点等の紹介
3月7日	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 藤沢地域陸運事業者及び荷主等における連絡協議会(2/27)報告 3. 2023年度協議事項(事業予定)の検討

6) 産業活動委員会(衛生部会下部組織)

開催予定日	議 事・ 審 議 事 項 等
2回／年(上・下)	新型コロナウイルス感染予防対策である職域接種の対応を優先したため、今年度の活動を休止した

(4) 他団体会議

1) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡会議

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
4月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2022年度主な事業予定(年間) (2) 2022年度講習会事業の報告(4月)並びに事業予定(5月-9月) (3) 2022年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(上期)
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望など(協会支部からの報告事項) (1) 2022年度通常支部総会の開催報告 (2) 2022年度講習会事業の報告(5月-7月)並びに事業予定(8月-10月) (3) 2022年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(下期)
10月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2022年度主な事業予定(10月-1月) (2) 2022年度講習会事業の報告(8月-10月)並びに事業予定(11月-3月) (3) 2022年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(下期)
2月27日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各関係団体連絡事項 3. 関係団体間の協力に関する要望(協会支部からの報告事項) (1) 2022年度主な事業報告(11月-1月) (2) 2022年度講習会事業の報告(11月-2月)並びに事業予定(3月) (3) 2023年度事業ならびに講習会予定(案) (4) 2022年度湘南地区産業保健連絡協議会の事業予定(2月-3月) (5) 2023年度藤沢労働基準監督署関係団体連絡会議開催日(案)

2) 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
4月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 2021年4月1日 繰越額の報告 2. 令和3年度(2021年度)事業計画 (1) 第94回全国安全週間湘南地区推進大会 (2) 第72回全国労働衛生週間湘南地区推進大会 3. 令和4年度(2022年度)事業計画(案) (1) 第95回全国安全週間湘南地区推進大会日程案 (2) 第73回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程案 (3) 令和4年度の推進大会特別講演について 4. 懸案事項 (1) 安全・衛生週間湘南地区推進大会資料代の改訂 (2) 経営者セミナーの開催について
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 第94回全国安全週間湘南地区推進大会の報告について 2. 第72回全国労働衛生週間湘南地区推進大会の開催について 3. 経営者セミナーについて 4. 令和4年度(2022年度)事業予定について 5. 懸案事項 令和4年度(以降)の推進大会特別講演について
10月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 第73回全国労働衛生週間湘南地区推進大会の報告について 2. 2022年度収支報告(10月25日現在) 3. 令和5年度(2023年度)事業について (1) 第96回全国安全週間湘南地区推進大会日程 (2) 第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程 4. 令和4年度経営者セミナーについて

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
2月27日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 令和4年度(2022年度) 収支報告 2. 令和5年度(2023年度) 事業について (1) 第96回全国安全週間湘南地区推進大会日程について (2) 第74回全国労働衛生週間湘南地区推進大会日程について (3) 安全・労働衛生推進大会 特別講演講師について(案) 3. その他・全般 (1) 令和5年度(2023年度)全国安全・労働衛生週間湘南地区推進大会 会場について (2) 令和4年度経営者セミナーの報告について 4. 2023年度 藤沢労働基準監督署関係団体連絡協議会議開催日(案)

3) 藤沢地域陸運事業者及び荷主等連絡協議会

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
7月25日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各団体での荷役災害防止の取組状況 (1) 連絡協議会の経過(規約見直し含む) (2) 前回の連絡協議会以降の各団体の取組(好事例・問題点)
2月27日 藤沢労働基準 監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 各団体での荷役災害防止の取組状況 (1) 連絡協議会の経過 ・ 前回の連絡協議会以降の各団体の取組(好事例・問題点) (2) 次年度の開催予定等

4) 湘南地区産業保健連絡協議会

開催年月日	議 事・ 審 議 事 項 等
5月12日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 議題 (1) 2021年度事業報告 (2) 2021年度収支報告 (3) 2022年度事業計画について (4) 2022年度湘南地区産業保健連絡協議会 年度会費について (5) 健康づくり研修会&日本医師会認定産業医制度産業医学研修会について
11月10日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 藤沢労働基準監督署連絡事項 2. 議題 (1) 2022年度上期事業報告 (2) 2022年度下期事業計画 (3) 2022年度事業予定(案)
3月9日 藤沢労働 基準監督署 4F会議室	1. 議題 (1) 2022年度下期事業報告 (3/2実施：日医認定産業医制度指定研修会(兼)健康づくり研修会)について (2) 審議事項 1) 2022年度収支報告 2) 2023年度事業計画 3) 2023年度年度会費および研修会助成金について(規約第7条第1項) (3) 承認事項 (4) その他全般

(5) 行事および事業

1) 支部全体行事

行 事 名		実施月日	会 場	出席数	内 容
2022年度 通常支部総会		5月11日	藤沢商工会館 ミナパーク 多目的ホール1. 2	会員57名 来賓者3名	2022年度1号議案～第4号議案まで満場一致で可決 ＜議事＞ 第1号議案 2021年度事業報告承認の件 第2号議案 2021年度収支決算報告並びに 会計監査報告承認の件 第3号議案 2022年度事業計画(案)承認の件 第4号議案 2022年度収支予算(案)承認の件 第5号議案 2022年度・2023年度支部役員(案)承認の件
				会員数 319社：出席数47社・委任状提出 198社・合計 245社 規約20条1項の定めによる会員総数の1/2を超え総会が成立	
				2022年無災害事業場表彰(3社)、2022年度支部功労者表彰(4名)	
表彰式					
情報交換会			新型コロナウイルス感染予防のため予定せず		
関係団体事業	第95回 全国安全週間 湘南地区 推進大会	6月8日	藤沢市民会館 小ホール	合計167名 安衛 84名 建災 45名 陸災 19名 ボイラ 7名 社労 7名 コンサル 5名	1. 開会挨拶 建設業 労働災害防止協会 分会長 小玉徹氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也氏 3. 来賓祝辞 藤沢市 経済部 部長 饗庭 功氏 4. 趣旨説明 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 遠藤敬行氏 5. 特別講演 労働災害を防止するには？ ～経営者として知っておきたい労働災害防止～ 櫻井社会保険事務所 代表 櫻井恵治氏 6. 閉会挨拶 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 分会長 大竹浩氏
	第73回 全国労働衛生週間 湘南地区 推進大会	9月7日	藤沢市民会館 小ホール	合計142名 安衛 77名 陸災 16名 ボイラ 3名 社労 6名 コンサル 6名	1. 開会挨拶 日本ボイラ協会神奈川支部会長 嶋田 耕一郎氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也氏 3. 来賓祝辞 鎌倉市市民生活部商工課 課長 田邊 幹浩氏 4. 趣旨説明 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 遠藤敬行氏 5. 特別講演 職場のメンタルヘルス推進に向けて ～社内外のつながりの重要性～ 東海大学 医学部看護学科 講師の島本 さと子氏 6. 閉会挨拶 日本労働安全衛生コンサルタント会 支部長 吉久功三氏
	令和4年度 経営者セミナー	1月17日	藤沢商工会館 ミナパーク 多目的ホール1. 2	合計79名 安衛 36名 建災 12名 陸災 11名 ボイラ 3名 社労 11名 コンサル 6名	1. 開会挨拶 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部 支部長 通山哲氏 2. 来賓挨拶 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也氏 3. 基調講演 神奈川労働局 労働基準課長 疋崎 雅夫氏 「労務基準行政の現状と今後」 4. 特別講演 ブレイン社会保険労務士法人理事長 北村庄吾氏 「年金改正とそれがもたらす人事労務への影響」 5. 閉会挨拶 神奈川県社会保険労務士会藤沢支部支部長 平沼香菜子氏
年末懇親会		12月9日	講師, 役員, 事務局		新型コロナウイルス感染予防のため予定せず
安全衛生祈願		1月12日	寒川神社	労働基準監督署 長瀬署長・遠藤課長 通山支部長・西村副支部長 森支部長代行・寛角副支部長代行・事務局	
賀詞交歓会		1月12日	新型コロナウイルス感染予防のため予定せず		

2) 常設部会担当事業

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習			社	人	★講師(敬称略)
労務部会	労務管理セミナー	9月16日	藤沢市建設会館 4F大会議室	13	15	★「今年の法改正トピックス」 ～パワハラ防止、女性活躍推進、産後育休パパ～ 神奈川働き方改革推進支援センター 桐生 英美氏 ★「働き方改革」 藤沢労働基準監督署 第一方面主任 青山 文和氏
	労務管理実務 研修会	2月28日		15	24	★「性的マイノリティ等多様な人材が活躍できる職場環境について」 ～性的マイノリティに関する企業の取り組み事例のご案内～ 神奈川働き方改革推進支援センター 桐生 英美氏 ★「問題社員への対応事例について」 ～成功事例から、失敗事例まで～ 弁護士法人シティ総合法律事務所 代表弁護士 会田 岳史氏

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習			社	人	
安全部会	●安全管理者 選任時研修	4月12日	藤沢市建設会館 4F大会議室	18	26	1.安全管理(3時間) 2.事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として 事業者が一連の過程を定めて行う自主活動(3.0時間) (危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含) 3.安全教育(1.5時間) 4.関係法令(1.5時間) ★徳嶋秀明・藤原健朗
		10月6日		22	25	
	●フルハーネス型 墜落制止用具 特別教育	5月17日		9	35	1.作業に関する知識(1.0時間) 2.墜落制止用具に関する知識(2.0時間) 3.労働災害防止に関する知識(1.0時間) 4.関係法令(0.5時間) 5.墜落制止用具の使用法等(1.5時間) ★阿部丈夫 実技補助:藤原健朗
		6月21日		14	34	
		7月22日		9	30	
		8月25日		16	36	
		11月15日		16	34	
		12月20日		18	28	
		2月7日		9	34	
	●職長教育	4月26日27日		19	34	1.指導・教育の進め方／監督・指示の方法(2.5時間) 2.適正配置／作業手順の定め方(2.0時間) 3.設備の改善／環境改善の方法と環境条件の保持／ 作業方法の改善／リスクアセスメントの実施とその結果に 基づくリスク低減措置(4.0時間) 4.異常時における措置／災害発生時における措置(1.5時間) 5.整理整頓と安全衛生点検／労働災害防止についての関心の 保持および労働者の創意工夫を引き出す方法(2.0時間) ★溝口正一・徳嶋秀明・藤原健朗・井上道雄
		6月2日3日		18	34	
		7月26日27日		20	33	
		10月3日4日		21	35	
		12月5日6日		16	37	
		2月13日14日		16	35	
	●職長能力向上 教育	8月30日		9	22	1.基本項目(3時間) 職長等の役割と職務/製造業における労働災害の動向 「リスク」の基本的考え方を踏まえた職長等として行う べき労働災害防止活動/ 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置/異常時等における措置/ 部下に対する指導力の向上(リーダーシップなど)/ 関係法令に係る改正の動向 2.専門項目(1時間) 事業場における安全衛生活動/ 労働安全衛生マネジメントシステムの仕組み/ 部下に対する指導力の向上 3.グループ討議(2時間) 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき 講ずる措置 ★藤原健朗・徳嶋秀明
		1月31日		10	33	
	●低圧電気取扱 業務特別教育 (学科のみ)	6月28日		8	30	1.低圧電気に関する基礎知識(1時間) 2.低圧電気設備に関する基礎知識(2時間) 3.低圧用安全作業用具に関する基礎知識(1時間) 4.低圧の活線作業及び活線近接作業の方法(2時間) 5.関係法令(時間) ★内沼創一朗
	●フォークリフト (1t以上) 運転業務従事者 安全教育	8月1日		6	13	1.最近のフォークリフトの特徴(2.0時間) 2.フォークリフト取扱いと保守(2.0時間) 3.災害事例と関係法令(2.0時間) ★徳嶋秀明・島田章
		2月1日		8	13	
	リスクアセスメント 研修会	6月14日		11	33	1.リスクアセスメント導入の背景(概要) 2.リスクアセスメントの進め方リスクアセスメント実施事例 3.演習等 ★徳嶋秀明・溝口正一・藤原健朗(7/30) ★徳嶋秀明・藤原健朗(1/20)
		12月13日		9	23	
	KYT研修会 (危険予知訓練)	7月5日		14	35	1.KYTの考え方／健康KY／指差し呼称とタッチアンドコール 2.KYT基礎4R法の進め方 3.KYT4R法演習等 ★徳嶋秀明・溝口正一・藤原健朗
		1月24日		15	32	

担当	事業名	実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習			社	人	
安全部会	リスクアセスメント研修会	6月15日	藤沢市建設会館 4F大会議室	7	31	1.リスクアセスメント導入の背景(概要) 2.リスクアセスメントの進め方リスクアセスメント実施事例 3.演習等 ★徳嶋秀明・溝口正一・藤原健朗
		1月27日		8	10	
	KYT研修会 (危険予知訓練)	7月6日		13	32	1.KYTの考え方／健康KY／指差し呼称とタッチアンドコール 2.KYT基礎4R法の進め方 3.KYT4R法演習等 ★徳嶋秀明・溝口正一・藤原健朗
		9月2日		7	10	
		1月18日		10	18	
	●アーク溶接等の業務に係る特別教育	10月20日21日 22日	(株)神戸製鋼所 藤沢事業所	5	10	1.関係法令<1.0時間> 2.アーク溶接等に関する知識<1.0時間> 3.アーク溶接装置に関する基礎知識<3.0時間> 4.アーク溶接等の作業方法に関する基礎知識<3.0時間> 5.アーク溶接装置の取扱い及びアーク溶接等の作業の方法<10.0時間> ★(株)神戸製鋼所事業所 座学・実技指導講師
	●機械研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	10月15日16日	いすゞ自動車(株) 藤沢工場 いすゞものづくり サービストレー ニングセンター	10	16	1.機械研削用研削盤、機械研削用といし、 取り付具等に関する知識<2.0時間> 2.機械研削用といしの取付け方法及び 試運転の方法に関する知識<1.0時間> 3.関係法令<1.0時間> 4.機械研削用といしの取付け方法及び試運転の方法<2.0時間> ★いすゞ自動車(株)藤沢工場実技指導講師
衛生部会	●自由研削といしの取り替え又は取替時業務に係る特別教育	11月15日	いすゞ自動車(株) 藤沢工場 いすゞものづくり サービストレー ニングセンター	13	30	1.自由研削用研削盤、自由研削用といし、 取り付具等に関する知識<2.0時間> 2.自由研削用といしの取付け方法及び 試運転の方法に関する知識<1.0時間> 3.関係法令<1.0時間> 4.自由研削用といしの取付け方法及び試運転の方法<2.0時間> ★いすゞ自動車(株)藤沢工場実技指導講師
	●動力プレス機械の金型調整特別教育	—	プレス工業(株) 藤沢工場 研修センター	中止 (新型コロナウイルス感染対応)		
	●衛生推進者養成講習	5月25日	藤沢市建設会館 4F大会議室	4	19	1.労働衛生管理<1.0時間> 2.作業環境管理及び作業管理<1.0時間> 3.労働衛生関係法令<1.0時間> 4.健康の保持増進対策<1.0時間> 5.労働衛生教育<1.0時間> ★久富美紀子
		8月2日		3	8	
		11月8日		3	3	
	●安全衛生推進者養成講習会	5月25日26日		11	18	1.安全管理<2.0時間> 2.危険性又は有害性等の調査及び その結果に基づき講ずる措置等<2.0時間> 3.作業環境管理及び作業管理<2.0時間> 4.健康の保持増進対策<1.0時間> 5.安全衛生教育<1.0時間> 6.安全衛生関係法令<2.0時間> ★久富美紀子(5/25,11/8) ★秋谷泰男(/26,11/9)
		11月8日 9日		9	18	
	●有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育	8月31日		11	35	1.関係法令<0.5時間> 2.有機溶剤による疾病及び健康管理<1.0時間> 3.作業環境管理<2.0時間> 4.保護具の使用の方法<1.0時間> ★秋谷泰男・鶴田光
		2月15日		7	12	
	●粉じん作業特別教育	6月29日		17	42	1.粉じんに係る疾病及び健康管理<1.0時間> 2.粉じんによる疾病の防止<1.0時間> 3.粉じん作業の管理<1.0時間> 4.呼吸用保護具の種類と使用の方法<0.5時間> 5.関係法令<1.0時間> ★秋谷泰男
		8月26日		20	42	
		11月14日		17	42	
		1月20日		14	30	
	第一種衛生管理者試験準備講習	9月12日13日		15	19	1.労働衛生に関する事項 2.労働生理に関する事項 3.関係法令 ★椎野恭司

担当	事業名		実施月日	会場	受講数		内 容
	●法定講習				社	人	
衛生部会	化学物質リスクアセスメント研修		9月21日	藤沢市建設会館 4F大会議室	16	38	化学物質における法律・行政指導・災害事例／化学物質管理の必要性等／GHS概要及びSDSの説明／化学物質のリスクアセスメント手法の説明／演習グループ討議 ★秋谷泰男・鶴田光
	健康づくり研修会 ＜産健連共催事業＞		3月2日	藤沢商工会館 ミナパーク	42	45	1.在宅勤務の課題と対策 ～健康管理を中心として～ 基礎研修会(実地研修)・生涯研修会(実地研修) 1単位 ★椎野恭司(労働衛生コンサルタント) 2.Afterコロナ下における産業保健の進め方 基礎研修(後期研修)・生涯研修(専門研修) 1単位 ★木村耕三(鎌倉医師会理事)・椎野恭司(労働衛生コンサルタント) 3.「労働衛生」について 基礎研修(後期研修)・生涯研修(更新研修) 1単位 ★長瀬徹也(藤沢労働基準監督署署長)
広報部会	新入社員等 安全衛生教育		4月5日	藤沢市民会館 第一展示集会 ホール	34	45	1.挨拶 ★藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也 氏 2.安全衛生 ★徳嶋秀明氏 ★井上 道雄氏
	新入社員等 安全衛生教育		4月8日	藤沢市民会館 第一展示集会 ホール	37	45	1.挨拶 ★藤沢労働基準監督署 副署長 今井貴久 氏 2.安全衛生 ★徳嶋秀明 ★井上 道雄氏
	広報誌 “藤沢”	発行No.	発行月日	記事内容			
		第327号	5月31日	・支部長就任のご挨拶 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場 通山 哲氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 副署長 今井隆久氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 第一方面主任監督官 青山丈和氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 第三方面主任監督官 山崎まゆか氏 ・着任のご挨拶 藤沢労働基準監督署 安全衛生課長 遠藤敬行氏 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ 藤沢労働基準監督署組織図(4/1付) ・第13次労働災害防止推進計画の推進状況 ・2022年度通常支部総会開催される 5月11日(火) 於:藤沢商工会議所ミナパーク多目的ホール ・2021年度 支部功労者表彰 ・2022・2023年度 スローガン表彰 ・2021年藤沢支部無災害事業場紹介 巴機械工業株式会社 有限会社山下鋳金工業株式会社テクノサンキョー ・当面の支部行事予定(2022年6月～8月) ・「安・健・快 雑感」 コベルコ溶接テクノ株式会社 原和之氏 ・編集後記 モリタ宮田工業(株) 鈴野浩史氏			
		第328号	6月30日	・令和4年度「全国安全週間を迎えて」 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也 氏 ・第95回全国安全週間湘南地区推進大会 6月8日(水) 於:藤沢市民会館 ・会員事業場紹介 コバシ株式会社 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ STOP! 熱中症クールワークキャンペーン／労働保険のお知らせ ・「安・健・快 雑感」 ミネベアミツミ株式会社 篠崎陽介氏 ・当面の支部行事予定(2022年8月～11月) ・編集後記 日産工機(株) 小林克己氏			
		第329号	9月30日	・令和4年度「全国労働衛生週間を迎えて」 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也 氏 ・第73回全国労働衛生週間湘南地区推進大会 9月7日(水) 於:藤沢市民会館 ・藤沢支部の新たな試み ・会員事業場紹介 愛和電気株式会社 ・藤沢労働基準監督署からのお知らせ 第73回全国労働衛生週間 ・「安・健・快 雑感」 池上通信機株式会社 小野寺純一氏 ・当面の支部行事予定(2022年11月～2023年1月) ・編集後記 三菱電機(株)鎌倉製作所 石崎隆之氏			
第330号	1月4日	・年頭にあって 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部 支部長 通山 哲氏 ・経営者セミナー開催のご案内 ・新年を迎えて 藤沢労働基準監督署 署長 長瀬徹也 氏 ・事務局からのお知らせ ・会員事業場紹介 株式会社南パッケージ ・続 藤沢支部の新たな試み ・当面の支部行事予定(2022年2月～3月) ・令和4年度 神奈川労務安全衛生大会開催される 11月10日～25日 オンライン ・第81回 全国産業安全衛生大会開催される ・編集後記 日産工機(株) 小林克己氏					

3. 会員事業場数の推移と構成

(1) 会員事業場数

2023年3月31日現在	入会数	退会数	2022年3月31日現在
316	4	6	318

(2) 規模別会員数＜2023年3月31日現在＞

従業員数	事業場数		従業員数	事業場数		従業員数	事業場数	
	2022年度	2021年度		2022年度	2021年度		2022年度	2021年度
50人以下	133	133	401～500	8	9	1,001～1,500	5	7
51～100	46	49	501～600	7	9	1,501～2,000	2	1
101～150	43	41	601～700	10	8	2,001～3,000	1	1
151～200	23	24	701～800	4	3	3,001～4,000	0	0
201～300	19	19	801～900	0	0	4,001人以上	2	2
301～400	12	11	901～1000	1	1	合 計	316	318

(3) 地区別事業場数＜2023年3月31日現在＞

区分	年	藤 沢	鎌 倉	茅ヶ 崎	寒 川	他	合計	備考
事業場	2022年度	147	49	66	47	7	316	事業数
		46.5	15.5	20.9	14.9	2.2	100	率
	2021年度	148	48	67	48	7	318	事業数
		46.5	15.1	21.1	15.1	2.2	100	率
従業員	2022年度	37,175	12,923	8,198	7,654	320	66,270	従業員数
		56.1	19.5	12.4	11.5	0.5	100	率
	2021年度	35,309	12,674	8,581	7,884	308	64,756	従業員数
		54.5	19.6	13.3	12.2	0.5	100	率

(4) 入会事業場数：4社＜2022年度入会事業場＞

業 種	事 業 場 名	従業員数	入会月	地 区
その他の事業	三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 湘南システムセンター	290	4	藤 沢
その他の製造業	アシストVエンジニアリング(株)	32	4	藤 沢
その他の工事業	(株)金沢商会	11	7	鎌 倉
その他の事業	かず保健師／公認心理師事務所(カウンセリングルームファイネ)	1	8	藤 沢
合 計	3 社	333 人		

(5) 退会事業場数：6社＜2022年度退会事業場＞

業 種	事 業 場 名	従業員数	理由	退会月	地 区
電気機械器具製造業	アシストV株式会社	7	会社都合	4	藤 沢
電気機械器具製造業	TPRエンブラ株式会社	61	移転	4	茅ヶ 崎
工業薬品製造業	中外製薬(株)鎌倉事業所	496	移転	12	藤 沢
その他の事業	かず保健師／公認心理師事務所(カウンセリングルームファイネ)	1	会社都合	2	藤 沢
その他の事業	日本精工(株)藤沢工場 協力会社安全衛生自主協議会	264	協議会解散	3	藤 沢
化学工業	フジ化成工業株式会社	20	事業縮小	3	茅ヶ 崎
合 計	6 社	849 人			

(6) 社名変更：2社＜2022年度社名変更事業場＞

変 更 後	変 更 前
ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社	(株)HGSTジャパン
日産モータースポーツ&カスタマイズ株式会社	株式会社オーテックジャパン

4. 表 彰

(1) 2022年 無災害事業場表彰（4事業所）

「無災害事業場表彰制度」に基づく（従業員数100人未満の会員事業場）

（順不同敬称略）

無災害対象期間 2020年1月1日～2022年12月31日	株式会社 タクマテクノス 藤沢事業所
	有限会社 トライコーポレーション
	株式会社ダイフク オートモーティブ事業部 東部支社4グループ
	いすゞ保険サービス株式会社 営業第二部 藤沢営業所

(2) 2022年度 支部功労者表彰（2名）

「功労者表彰対象基準」に基づく

（順不同敬称略）

役名/部会名	氏 名	就任期間	事業所名
支 部 長	通山 哲	3年0月	いすゞ自動車株式会社藤沢工場
広報部会	小林 克己	4年9ヶ月	日産工機株式会社

(3) 令和3年度 神奈川労務安全衛生協会会長賞受賞者（本部）

本部「労務安全衛生功労者表彰規程」に基づく

労務安全衛生功労賞（5名）

（順不同敬称略）

氏 名	事業所名	支部活動部会
勝海 滋之	京応化工業(株)相模事業所	安全部会
竹尾 友子	NOK(株)藤沢事業場	衛生部会
赤塚 直徳	中外製薬(株)鎌倉事業所	安全部会
日高 春奈	ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社	広報部会
岩井 泰	TOTO(株)茅ヶ崎工場	安全部会

2022年度 正味財産増減計算書（総括表）

<2022年4月1日～2023年3月31日>

(単位：円)

		2022年度	2021年度	差異	2022予算額
I. 一般正味財産増減の部					
経常収益計	経常増減の部				
	1. 受取会費	5,871,070	5,845,070	26,000	5,700,000
	受取会費	5,871,070	5,845,070	26,000	5,700,000
	2. 事業収益	16,755,382	11,124,052	5,631,330	12,830,000
	教育講習収益	1,290,260	858,040	432,220	930,000
	技能講習収益	11,556,383	7,040,670	4,515,713	8,500,000
	刊行物収益	3,908,739	3,225,342	683,397	3,400,000
	3. 雑収益	92,477	114,412	▲ 21,935	101,000
	受取利息	328	312	16	1,000
	雑収益	92,149	114,100	▲ 21,951	100,000
	4. 受取活動費	1,345,941	1,615,169	▲ 269,228	1,200,000
	5. 特定資産運用益			0	0
	特定資産受取利息	0	0	0	
		24,064,870	18,698,703	5,366,167	19,831,000
経常費用計	1. 事業費	16,657,216	14,130,565	2,526,651	16,408,100
	諸給	6,825,063	6,203,142	621,921	7,788,000
	給料手当	5,903,254	4,865,084	1,038,170	5,943,000
	法定福利費	721,545	904,845	▲ 183,300	1,015,000
	福利厚生費	104,568	150,349	▲ 45,781	350,000
	旅費交通費	95,696	2,464	93,232	200,000
	退職給付費用		280,400	▲ 280,400	280,000
	経費	1,785,281	1,831,853	▲ 46,572	2,007,100
	通信運搬費	376,450	353,185	23,265	430,000
	消耗品費	87,712	175,905	▲ 88,193	150,000
	光熱水料費	97,524	85,365	12,159	84,000
	賃借料	1,185,480	1,172,790	12,690	1,155,000
	減価償却費	0	0	0	0
	設備減価償却費	0	0	0	0
	備品減価償却費	38,115	15,883	22,232	38,100
	雑費	0	28,725	▲ 28,725	150,000
	調査研究費	69,300	42,380	26,920	260,000
	委員会運営費	69,300	42,380	26,920	260,000
	技能教育費	7,563,752	5,575,680	1,988,072	5,573,000
	教育講習費	447,310	375,130	72,180	373,000
	技能講習費	3,830,870	2,607,441	1,223,429	2,640,000
	刊行物購入費	3,285,572	2,593,109	692,463	2,560,000
	広報費	413,820	477,510	▲ 63,690	780,000
	機関誌発行費	413,820	477,510	▲ 63,690	480,000
	大会費	0	0	0	300,000
	2. 管理費	4,383,994	3,958,303	425,691	4,364,350
	諸給	2,884,011	2,620,435	263,576	3,102,000
	給料手当	2,529,966	2,085,033	444,933	2,547,000
	法定福利費	309,231	351,371	▲ 42,140	435,000
	福利厚生費	44,814	64,431	▲ 19,617	0
	旅費交通費	0	0	0	0
	退職給付費用	0	119,600	▲ 119,600	
	退職金	0	0	0	120,000
	経費	1,499,983	1,337,868	162,115	1,262,350
	印刷製本費	44,585	44,585	0	45,000
	会議費	243,580	162,122	81,458	100,000
	光熱水料費	41,796	36,585	5,211	36,000
	賃借料	442,800	442,800	0	495,000
	租税公課	567,900	393,200	174,700	420,000
	減価償却費	0	6,807	▲ 6,807	0
	設備減価償却費	0	0	0	0
	備品減価償却費	16,335	0	16,335	16,350
	雑費	142,987	251,769	▲ 108,782	150,000
		21,041,210	18,088,868	2,952,342	20,772,450
当期経常増減額		3,023,660	609,835	2,413,825	-941,450
当期一般正味財産増減額		3,023,660	609,835	2,413,825	-941,450
正味財産期首残高		21,193,159	20,583,324	609,835	18,932,676
II. 正味財産期首末高		24,216,819	21,193,159	3,023,660	17,991,226

2022度 正味財産増減計算書（内訳書） <2022年4月1日～2023年3月31日>

（単位：円）

科 目	公 益 事 業					法人会計 ＜注記参照＞	内部 取引 消去	計
	公 益 事 業 1	公 益 事 業 2	公 益 事 業 3	共通費	＜注記参照＞ 小計			
I. 一般正味財産増減の部								
経常増減の部								
1. 受取会費	0	0	0	2,935,535	2,935,535	2,935,535	0	5,871,070
受取会費				2,935,535	2,935,535	2,935,535	0	5,871,070
2. 事業収益	2,072,008	14,292,500	390,874	0	16,755,382	0	0	16,755,382
教育講習収益	1,290,260				1,290,260		0	1,290,260
技能講習収益		11,556,383			11,556,383		0	11,556,383
刊行物収益	781,748	2,736,117	390,874		3,908,739		0	3,908,739
3. 雑収益	0	0	0	164	164	92,313	0	92,477
受取利息				164	164	164	0	328
雑収益					0	92,149	0	92,149
4. 受取活動費				672,971	672,971	672,971	0	1,345,941
5. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,072,008	14,292,500	390,874	3,608,670	20,364,052	3,700,819	0	24,064,870
1. 事業費	2,352,406	10,485,366	1,435,668	2,383,775	16,657,216	0	0	16,657,216
諸給	967,525	3,386,336	483,762	1,987,440	6,825,063	0	0	6,825,063
給料手当	826,456	2,892,594	413,228	1,770,976	5,903,254	0	0	5,903,254
法定福利費	101,016	353,557	50,508	216,464	721,545	0	0	721,545
福利厚生費	20,914	73,198	10,457	0	104,568	0	0	104,568
旅費交通費	19,139	66,987	9,570	0	95,696	0	0	95,696
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
経費	280,457	968,260	140,229	396,336	1,785,281	0	0	1,785,281
通信運搬費	75,290	263,515	37,645		376,450	0	0	376,450
消耗品費	17,542	61,398	8,771		87,712	0	0	87,712
光熱水料費	13,653	47,787	6,827	29,257	97,524	0	0	97,524
賃借料	165,967	580,885	82,984	355,644	1,185,480	0	0	1,185,480
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
設備減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
備品減価償却費	8,004	14,674	4,002	11,435	38,115	0	0	38,115
雑費				0	0	0	0	0
調査研究費	0	0	69,300	0	69,300	0	0	69,300
委員会運営費			69,300		69,300	0	0	69,300
技能教育費	1,104,424	6,130,770	328,557	0	7,563,752	0	0	7,563,752
教育講習費	447,310				447,310	0	0	447,310
技能講習費		3,830,870			3,830,870	0	0	3,830,870
刊行物購入費	657,114	2,299,900	328,557		3,285,572	0	0	3,285,572
広報費	0	0	413,820	0	413,820	0	0	413,820
機関誌発行費	0	0	413,820		413,820	0	0	413,820
大会費	0	0		0	0	0	0	0
2. 管理費	0	0	0	0	0	4,383,994	0	4,383,994
諸給	0	0	0	0	0	2,884,011	0	2,884,011
給料手当					0	2,529,966	0	2,529,966
法定福利費					0	309,231	0	309,231
福利厚生費					0	44,814	0	44,814
旅費交通費					0	0	0	0
退職金					0	0	0	0
経費	0	0	0	0	0	1,499,983	0	1,499,983
印刷製本費					0	44,585	0	44,585
会議費					0	243,580	0	243,580
光熱水料費					0	41,796	0	41,796
賃借料					0	442,800	0	442,800
租税公課					0	567,900	0	567,900
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
設備減価償却費					0	0	0	0
備品減価償却費					0	16,335	0	16,335
雑費					0	142,987	0	142,987
経常費用計	2,352,406	10,485,366	1,435,668	2,383,775	16,657,216	4,383,994	0	21,041,210
当期経常増減額	▲ 280,398	3,807,134	▲ 1,044,794	1,224,894	3,706,836	△ 683,176	0	3,023,660
当期一般正味財産増減額								3,023,660
正味財産期首残高								21,193,159
正味財産期末残高								24,216,819

＜注 記＞ 公益事業１：労働基準法、労働安全衛生法及び関係法令の普及啓発に関する事業
 公益事業２：労働安全衛生法による技能講習、特別教育、養成講習に関する事業
 公益事業３：労働福祉向上のための相談、調査、広報に関する事業
 共通費：特定の公益事業と関連付けられない公益事業に係る共通収入、共通費用
 法人会計：公益目的事業（収益事業・共益事業）に属さない、区分できない管理業務に関する管理費や、その他法人全般に関する事項を経理する会計区分

2022年度 貸借対照表

<2023年3月31日現在>

(単位：円)

科 目		2022年度	2021年度	増 減
I 資 産 の 部	1. 流 動 資 産			
	現金預金	11,818,870	8,899,421	2,919,449
	未収入金		60,780	△ 60,780
	前払金			0
	立替金			0
	流 動 資 産 合 計	11,818,870	8,960,201	2,858,669
	2. 固 定 資 産			
	特定資産			
	退職給付引当預金	0	528,600	△ 528,600
	備品購入等積立預金	1,398,250	1,398,250	0
	事務所維持等積立預金	4,000,000	4,000,000	0
	事業運営安定化積立預金	7,561,198	7,561,198	0
	特 定 資 産 合 計	12,959,448	13,488,048	△ 528,600
	その他の固定資産			
	設備造作			
	備 品	140,661	195,111	△ 54,450
	差入保証金			0
	その他の固定資産合計	140,661	195,111	△ 54,450
	固 定 資 産 合 計	13,100,109	13,683,159	△ 583,050
資産合計		24,918,979	22,643,360	2,275,619
II 負 債 の 部	1. 流 動 負 債			
	前受金	687,600	863,637	△ 176,037
	預り金	14,560	28,384	△ 13,824
	未払金		29,580	△ 29,580
	流 動 負 債 合 計	702,160	921,601	△ 219,441
	2. 固 定 負 債			
	退職給付引当金	0	528,600	△ 528,600
	固 定 負 債 合 計	0	528,600	△ 528,600
負債合計		702,160	1,450,201	△ 748,041
III 正 味 財 産 の 部	一 般 正 味 財 産 (うち特定資産への充当額)	24,216,819 (12,959,448)	21,193,159 (13,488,048)	3,023,660 △ 528,600
	正 味 財 産 合 計	24,216,819	21,193,159	3,023,660
負債及び正味財産合計		24,918,979	22,643,360	2,275,619

2022年度 財 産 目 録

<2022年3月31日現在>

(単位：円)

科 目		金 額
I 資 産 の 部	1. 流 動 資 産	
	現 金 預 金	
	現 金 手 許 有 高	7,657
	普 通 預 金 横 浜 銀 行 ①	11,270,321
	普 通 預 金 り そ な 銀 行	540,892
	未 収 入 金	0
	前 払 金	0
	立 替 金	0
	流 動 資 産 合 計	11,818,870
	2. 固 定 資 産	
	特 定 資 産	
	退 職 給 付 引 当 預 金	
	普 通 預 金 横 浜 銀 行 ②	0
	備 品 購 入 等 積 立 預 金	
	定 期 預 金 り そ な 銀 行	1,398,250
	事 務 所 維 持 等 積 立 預 金	
	定 期 預 金 り そ な 銀 行	4,000,000
	事 業 運 営 安 定 化 積 立 預 金	
	定 期 預 金 り そ な 銀 行	3,000,000
	普 通 預 金 横 浜 銀 行 ①	4,561,198
	特 定 資 産 合 計	12,959,448
	そ の 他 の 固 定 資 産	
	備 品 ノートパソコン 2台	140,661
	出 資 金	
	差 入 保 証 金	
	その他の固定資産合計	140,661
	固 定 資 産 合 計	13,100,109
	資 産 合 計	24,918,979
II 負 債 の 部	1. 流 動 負 債	
	前 受 金	687,600
	預 り 金	14,560
	未 払 金	
	流 動 負 債 合 計	702,160
	2. 固 定 負 債	
	退 職 給 付 引 当 金	0
	固 定 負 債 合 計	0
	負 債 合 計	702,160
	正 味 財 産 合 計	24,216,819

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却方法 備品……定額法による減価償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準 退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税の会計処理は、税込方式により行っている。

2. 特定資産の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	増減の理由
特 定 資 産					
退 職 給 付 引 当 預 金	528,600	0	528,600	0	規定による繰入 及び退職金支払い
備 品 購 入 等 積 立 預 金	1,398,250		0	1,398,250	
事 務 所 維 持 等 積 立 預 金	4,000,000	0	0	4,000,000	
事 業 運 営 安 定 化 積 立 預 金	7,561,198	0	0	7,561,198	
特 定 資 産 計	13,488,048	0	528,600	12,959,448	

3. 特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 預 金	0	(ー)	(ー)	(ー)
備 品 購 入 等 積 立 預 金	1,398,250	(ー)	(1,398,250)	(ー)
事 務 所 維 持 等 積 立 預 金	4,000,000	(ー)	(4,000,000)	(ー)
事 業 運 営 安 定 化 積 立 預 金	7,561,198	(ー)	(7,561,198)	(ー)
合 計	12,959,448	0	12,959,448	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。(単位：円)

科 目	取 得 価 格	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
備 品 (ノートパソコン:2010年度購入)	189,000	188,999	1
備 品 (ノートパソコン:2021年度購入)	195,110	54,450	140,660
合 計	384,110	243,449	140,661

5. 引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		当期末残高
			目 的 使 用	そ の 他	
退 職 給 付 引 当 金	528,600	0	528,600	0	0
合 計	528,600	0	528,600	0	0

<付 属 明 細 書>

1. 特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載してある。
2. 引当金の明細は、財務諸表の注記に記載してある。

2022年度会計監査報告

2022年度 公益財団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部収支決算について

下記にとおり会計監査を行った結果、正確に記録、計算されていることを
認めます。

2023年4月13日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部

監 査 プレス工業株式会社 藤沢工場

阿 部 正 弘



監 査 TOTO株式会社 茅ヶ崎工場

久 田 啓 介



上記のとおり報告します。

2023年4月13日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部

支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場

森 淳



『第3号議案』

2023年度 事業計画（案）

1. 概要

2023年度からスタートする第14次労働災害防止計画においては、第13次の計画で目標達成の妨げとなった「行動災害」の増加に対して事業者や労働者における意識高揚を図るべく、自発的取り組みを促す施策が盛り込まれています。

労働災害の発生件数は、新型コロナウイルス感染症によるものが加わり、全国的に増加傾向ではあります。一方、従来からの事故の型別発生状況においては、災害撲滅のための「STOP！転倒災害プロジェクト」活動は継続中ではあるものの、依然として「転倒」「動作の反動・無理な動作」「墜落・転落」も増加しております。また、業種別では第三次産業（小売業や社会福祉施設等の保健衛生業、飲食店等のサービス業）及び陸上貨物運送事業も災害発生件数が多いため、更なる安全対策の強化や安全衛生管理体制の整備も一層進められるものと思われます。

製造業においては、重篤度の高い災害も多いことから「機械の包括的な安全基準に関する指針」によるリスクアセスメントの促進や、「挟まれ・巻き込まれ」災害の防止を重点とした、機械設備の本質安全化対策の徹底、そして労働災害防止団体と連携した取り組みが引き続き重要と思われます。

職場における労働者の健康保持増進に関する問題については、働き方改革への対応、メンタルヘルス不調、労働者の高齢化や女性の就業率の上昇に伴う健康課題への対応、治療と仕事の両立支援やテレワークの拡大等多様化しており、現場のニーズの変化に対応した産業保健体制や活動の見直しが必要となります。また、DXの進展も踏まえ、労働者の理解・協力を得ながら、プライバシー等の配慮やその有用性を評価しつつ、ウェアラブル端末、VRやAI等の活用を図る等、就業形態の変化はもとより、価値観の多様化等、今後さらなる改革が求められると思われます。

このような労働安全衛生行政の取り組みに合わせて、各種講習会にも引き続き力を入れて取り組んでいくことといたします。

死亡災害を発生させないためにも藤沢労働基準監督署と連携し、全産業において安全衛生活動の推進および災害件数減少のため、より一層の取り組みを推し進めてまいります。

当支部では今年度も労働災害の減少に努め、安心して健康に働くことができる職場環境の実現に向け、労働関係法令等の周知を図るとともに、第14次労働災害防止計画が目指す「多様な形態で働く一人一人が潜在力を十分に発揮できる社会」の実現に貢献できるよう各種講習会の充実、広報誌・ホームページ等による情報提供等、啓発活動に取り組んでまいります。

以上、今年度も会員事業場の皆様方のご支援、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、事業活動に取り組む所存ですので、どうかよろしくお願いいたします。

基 本 方 針

1. 時宜に対応した実効ある支部活動の推進

各種行事・講習会は、行政の重点実施施策に沿った内容で、藤沢労働基準監督署のご指導をいただきながら、災害件数の多い業種や原因に対して、有効かつ具体的な講習会等を開催してまいります。

近年、事業場における労務安全衛生に対するノウハウの継承が懸念されておりますが、各事業場において一連の活動が、継続且つ適切に運用ができるように労働安全衛生マネジメントシステムの普及・啓発活動を推進します。また、広報誌やホームページを通じて広く事業者に対し、各種行事・講習会の趣旨や情報をPRするとともに、会員事業場のニーズ把握に努め、時宜に対応した活動も取り入れ、実効ある支部活動の推進に努めてまいります。

2. 第三次産業及び小規模事業場への会員拡大の働きかけ

第三次産業の労働者数はサービス業界の進展により全産業の7割を超えております。これに伴い第三次産業における労働災害件数も年々増加傾向にあります。また、第三次産業や小規模事業場は全体的に非正規労働者の割合が高く、労務安全衛生管理の徹底が難しい側面も有しております。

労務管理の適正化と職場安全衛生の確保に向けて、藤沢労働基準監督署と連携し、法的な要求事項をPRしながら、事業規模や事業内容に沿った講習会等も開催し、会員拡大に努めてまいります。

3. 行政及び関係団体との連携強化

藤沢労働基準監督署をはじめとする行政機関の各施策に応じ、会員事業場への働きかけを継続して行うとともに、行政運営方針の周知徹底を推進してまいります。また、管内の労働災害防止等関係6団体の中核としても、責務を果たすために各行事等に対しても積極的な参画を行ってまいります。

4. 公益社団法人としての適正かつ健全な神奈川労務安全衛生協会藤沢支部運営

会員事業場の皆様のご意見、藤沢労働基準監督署及び協会本部のご指導をいただきながら、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部としての適正かつ健全な支部運営を行ってまいります。また、支部の運営に欠かせない講習会受講者数を確保できるように時宜に応じたテーマも取り入れた有意義且つ有益な講習会の開催を行ってまいります。

5. 会員減少組織対策

引き続き会員減少を防止するため会員事業場のニーズを収集し、加入メリットがわかるように行政とも連携して取り組みながら、会員減少の歯止めを行ってまいります。

2. 行事計画および事業計画

(1) 支部全体行事計画

行 事 名		実施予定日	会 場	対象者	内 容
2023年度通常支部総会		5月9日	藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール1. 2	会 員 来賓者	<議 事> 第1号議案 2022年度事業報告の承認を 求める件 第2号議案 2022年度収支決算の承認を 求める件/会計監査報告 第3号議案 2023年度事業計画の審議の件 第4号議案 2023年度収支予算の審議の件 <表 彰> 2022年無災害事業場表彰：4事業場 2022年度支部功労者：2名
情報交換会			新型コロナウイルス感染防止のため予定せず		
行 事 名		実施予定日	会 場	対象者	内 容／備 考
関係団体事業	第96回 全国安全週間 湘南地区 推進大会	6月8日	藤沢市民会館 小ホール	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コンサル>	1. 開会挨拶／2. 来賓挨拶 3. 来賓祝辞／4. 趣旨説明 5. 特別講演／6. 閉会挨拶
	第74回 全国労働衛生週間 湘南地区 推進大会	9月7日	藤沢市民会館 小ホール	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コンサル>	1. 開会挨拶／2. 来賓挨拶 3. 来賓祝辞／4. 趣旨説明 5. 特別講演／6. 閉会挨拶
	令和5年度 経営者セミナー	1月18日	藤沢商工会館 ミナパーク	会 員 藤沢労働基準監督署 関係団体連絡協議会団体 <安衛協. 建災. 陸災 . 社労. コンサル>	1. 開会挨拶／2. 来賓挨拶 3. 基調講演／4. 特別講演 5. 閉会挨拶
年末懇親会			新型コロナウイルス感染防止のため予定せず		
安全衛生祈願		1月12日	鶴岡八幡宮	労働基準監督署 署長, 安全衛生課長、 支部長, 副支部長、支部長代行, 副支部長代行, 事務局	
賀詞交歓会			新型コロナウイルス感染防止のため予定せず		
無災害表彰		2023度通常 支部総会 開催日	2023度通常 支部総会 開催会場	会 員	無災害事業場表彰制度に基づく
功労者表彰				役 員	功労者表彰基準に基づく

(2) 常設部会担当事業計画

◎2022年度より講習会のNET申込を開始しました。会員価格から更に300円割引となります。

※テキスト代・昼食代に変更が生じた際は受講料が変更となります

担当	事 業 名 ●法定講習	実施予定日	会 場	募集数	※受講料 (テキスト・昼食等含)
労 務	労務管理セミナー	9月19日	藤沢市建設会館 4F大会議室	42	3,300
	労務管理実務研修会	2月27日		42	3,300
安 全 部 会	●安全管理者選任時研修	4月12日		42	12,800
		10月10日		42	12,800
	●フルハーネス型墜落制止用具 特別教育	5月16日		36	8,300
		6月16日		36	8,300
		7月6日		36	8,300
		10月31日		36	8,300
		12月7日		36	8,300
		2月6日		36	8,300
	●フォークリフト(1t以上) 運転業務従事者安全衛生教育	2月1日		42	9,100
	●低圧電気取扱作業者特別教育 (学科)	6月26日		42	9,600

担当	事 業 名 ●法定講習			実施予定日	会 場	募集数	※受講料 (テキスト・昼食等含)
安 全 部 会	●職長教育			4月26日27日	藤沢市建設会館 4 F 大会議室	42	12,400
				6月5日6日		42	12,400
				7月10日11日		42	12,400
				10月2日3日		42	12,400
				12月4日5日		42	12,400
				1月15日16日		42	12,400
				2月19日20日		42	12,400
				リスクアセスメント研修会			6月20日
	12月12日	36	7,600				
	KYT研修会(危険予知訓練)			7月4日	36	7,400	
				1月23日	36	7,400	
	●職長能力向上教育			8月30日	42	9,500	
1月30日				42	9,500		
衛 生 部 会	●アーク溶接等の業務に係る 特別教育			11月27日28日 29日	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	15	17,500
	●機械研削といしの取り替え又は 取替時業務に係る特別教育			10月5日6日	いすゞ自動車(株)藤沢工場 いすゞものづくり サービストレーニングセンター	30	11,700
							30
	●自由研削といしの取り替え又は 取替時業務に係る特別教育			11月21日			
	●衛生推進者養成講習			6月29日	藤沢市建設会館 4F大会議室	21	10,830
				11月6日		21	10,830
	●安全衛生推進者養成講習会			6月29日30日		21	12,350
				11月6日7日		21	12,350
	●有機溶剤業務従事者に対する 特別な労働衛生教育			8月31日		42	6,600
				2月13日		42	6,600
●粉じん作業特別教育			6月13日	42		6,500	
			8月25日	42		6,500	
			11月13日	42		6,500	
			1月19日	42		6,500	
			化学物質リスクアセスメント研修会	9月25日		36	7,600
健康づくり研修会<産健連共催事業>			2月29日	藤沢商工会館 ミナパーク		20	3,300
広 報 部 会	新入社員等(雇入れ時) 安全衛生教育			4月5日	藤沢市建設会館 4F大会議室	42	4,500
				4月8日		42	4,500
	広報誌 “藤沢”	発行No.	発行月日	記 事 掲 載 案			
		第331号	5月31日	・2023年度通常支部総会／・着任挨拶／・監督署からのお知らせ<藤沢労働基 準監督署>／・2022無災害事業場表彰／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」／ ・新規入会紹介／・支部行事案内／・編集後記など			
		第332号	6月30日	・令和5年度「全国安全週間を迎えて」／・「安・健・快 雑感」／・会員事業場紹介 ・第96回全国安全週間 湘南地区推進大会／・支部行事案内／・編集後記など			
		第333号	9月30日	・令和5年度「全国労働衛生週間を迎えて」／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」 ・第74回全国労働衛生週間 湘南地区推進大会／・支部行事案内／・編集後記など			
	第334号	1月4日	・年頭にあって／・新年を迎えて／・経営者セミナー／・神奈川大会 ・全国大会／・支部行事案内／・会員事業場紹介／・「安・健・快 雑感」／・編集後記など				
優良事業場見学研修会			予定なし				

(3) 本部・横浜西・横浜南共催事業計画(地域講習)

※テキスト代に変更が生じた際は受講料が変更となります

担当	事業名 ●法定講習	実施予定日	会場	募集数	※受講料 (テキスト含)
共催	特定化学物質及び四アルキル鉛等主任者技能講習	9月11日12日	鎌倉芸術館 3F 集会室	80	13,940
				80	13,940

『第4号議案』

2023年度 正味財産増減予算書(案)

<2023年4月1日～2024年3月31日>

(単位:円)

科 目	公 益 事 業					法人会計	内部 取引消去	計
	公益事業1	公益事業2	公益事業3	共通費	小計			
I. 一般正味財産増減の部								
経常増減の部								
1. 受取会費	0	0	0	2,850,000	2,850,000	2,850,000	0	5,700,000
受取会費				2,850,000	2,850,000	2,850,000	0	5,700,000
2. 事業収益	1,740,000	9,340,000	320,000	0	11,400,000	0	0	11,400,000
教育講習収益	1,100,000				1,100,000	0	0	1,100,000
技能講習収益		7,100,000			7,100,000	0	0	7,100,000
刊行物収益	640,000	2,240,000	320,000		3,200,000	0	0	3,200,000
3. 雑収益	0	0	0	500	500	500	0	1,000
受取利息				500	500	500	0	1,000
雑収益					0		0	0
4. 受取活動費				600,000	600,000	600,000		1,200,000
5. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息					0		0	0
	1,740,000	9,340,000	320,000	3,450,500	14,850,500	3,450,500	0	18,301,000
1. 事業費	2,170,100	8,686,400	1,415,000	240,000	12,811,600		0	12,811,600
諸給	1,008,000	3,528,000	504,000	0	5,040,000		0	5,040,000
給料手当	280,000	980,000	140,000	0	1,400,000		0	1,400,000
法定福利費	42,000	147,000	21,000	0	210,000		0	210,000
福利厚生費	14,000	49,000	7,000	0	70,000		0	70,000
出向負担金	600,000	2,100,000	300,000	0	3,000,000		0	3,000,000
旅費交通費	72,000	252,000	36,000	0	360,000		0	360,000
退職給付費用	0	0	0	0	0		0	0
経費	310,100	1,066,400	155,000	0	1,831,600		0	1,831,600
通信運搬費	86,000	301,000	43,000	0	430,000		0	430,000
消耗品費	30,000	105,000	15,000	0	150,000		0	150,000
光熱水料費	21,000	73,500	10,500	0	105,000		0	105,000
賃借料	161,700	566,000	80,800	0	808,500		0	808,500
減価償却費(a～b計)	11,400	20,900	5,700	0	38,100		0	38,100
設備減価償却費a					0		0	0
備品減価償却費b	11,400	20,900	5,700		38,100		0	38,100
雑費	60,000	210,000	30,000	0	300,000		0	300,000
調査研究費	0	0	260,000	0	260,000		0	260,000
委員会運営費		0	260,000		260,000		0	260,000
技能教育費	852,000	4,092,000	256,000	0	5,200,000		0	5,200,000
教育講習費	340,000	0	0	0	340,000		0	340,000
技能講習費	0	2,300,000	0	0	2,300,000		0	2,300,000
刊行物購入費	512,000	1,792,000	256,000	0	2,560,000		0	2,560,000
広報費	0	0	240,000	240,000	480,000		0	480,000
機関誌発行費	0	0	240,000	240,000	480,000		0	480,000
大会費	0	0	0	0	0		0	0
2. 管理費						2,127,800	0	2,127,800
諸給						690,000	0	690,000
給料手当						600,000	0	600,000
法定福利費						90,000	0	90,000
福利厚生費							0	0
旅費交通費							0	0
退職金						0	0	0
経費						1,437,800	0	1,437,800
印刷製本費						50,000	0	50,000
会議費						200,000	0	200,000
光熱水料費						45,000	0	45,000
賃借料						346,500	0	346,500
租税公課						580,000	0	580,000
負担金支出						200,000	0	200,000
減価償却費(a～b計)						16,300	0	16,300
設備減価償却費a							0	0
備品減価償却費b						16,300	0	16,300
雑費						0	0	0
	2,170,100	8,686,400	1,415,000	240,000	12,511,500	2,127,800	0	14,939,400
当期経常増減額	▲ 430100	653600	▲ 1095000	3210500	2339000	1322700	0	3361600
当期一般正味財産増減額	▲ 430100	653600	▲ 1095000	3210500	2339000	1322700	0	3361600

※ 1

※ 1 受取会費について

会員会費 6754800

本部会費 997900

支部受取会費 5756900

『第5号議案』

1. 2023年度 役員事業場（案）

役 員 事 業 場 43事業場		● ニ役事業場 9事業場
旭 ファイバーグラス (株) 湘南工場	(株) た ま や	
アズビル (株) 藤沢テクノセンター	デ ン カ (株) 大 船 工 場	
(株) ア ル バ ッ ク	東 海 カ ー ボ ン (株) 湘 南 工 場	
池上通信機 (株) システムセンター	東 京 応 化 工 業 (株) 相 模 事 業 所	
● いすゞ自動車 (株) 藤沢工場	● T O T O (株) 茅ヶ崎工場	
いすゞ自動車 (株) 藤沢工場 (いすゞ藤沢安全衛生協力会)	東 邦 チ タ ニ ウ ム (株)	
ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社	ト ピ ー 工 業 (株) 神 奈 川 製 造 所	
● N O K (株) 湘南 R & D センター	日 産 工 機 (株)	
● (株) 荏原製作所 藤沢事業所	日 本 ギ ア 工 業 (株)	
オイレス工業 (株) 藤沢事業場	● 日 本 精 工 (株) 藤 沢 工 場	
(株) 大 船 軒	● プ レ ス 工 業 (株) 藤 沢 工 場	
河 西 工 業 (株)	● 三 菱 電 機 (株) 鎌 倉 製 作 所	
キリンビバレッジ (株) 湘南工場	三菱電機エンジニアリング (株) 鎌倉事業所 (三菱電機鎌倉地区構内事業協力会)	
● (株) 神戸製鋼所 藤沢事業所	三 菱 電 機 (株) 情 報 技 術 総 合 研 究 所	
コベルコ溶接テクノ (株) (神鋼藤沢安全衛生協力会)	三 菱 プ レ シ ジ ョ ン (株)	
(株) 佐賀鉄工所 藤沢工場	ミ ネ ベ ア ミ ツ ミ (株) 藤 沢 工 場	
敷島製パン (株) パスコ湘南工場	(株) 明 治 神 奈 川 工 場	
シロキ工業 (株) 藤沢工場	メ ル シ ャ ン (株) 藤 沢 工 場	
(株) 湘南ユニテック	モ リ タ 宮 田 工 業 (株)	
新明和工業 (株) 特装車事業部寒川工場	(株) ヤクルト本社湘南化粧品工場	
● J X 金 属 (株) 倉 見 工 場	レ ン ゴ ー (株) 湘 南 工 場	
J X 金 属 コ イ ル セ ン タ ー (株)		

2. 2023年度 本部理事 及び 本部部会・委員会（案）

本 部 理 事 （敬称略）		
理 事	いすゞ自動車 (株) 藤沢工場	森 淳美
理 事	N O K (株) 湘南 R & D センター	西村 宣宏

本部部会・委員会 支部選出事業場		
企 画 部 会	いすゞ自動車 (株) 藤沢工場	支部長代行
労 務 部 会	オイレス工業 (株) 藤沢事業場	労務部会副部会長
安 全 部 会	キリンビバレッジ (株) 湘南工場	安全部会副部会長
衛 生 部 会	アズビル (株) 藤沢テクノセンター	次期衛生部会副部会長
広 報 部 会	T O T O (株) 茅ヶ崎工場	広報部会副部会長
産業保健活動 (委員会)	いすゞ自動車 (株) 藤沢工場	支部長事業場

3. 2023年度 役員担当（案）

二 役	事業場名		二 役	事業場名	
支部長	1	いすゞ自動車(株)藤沢工場	副支部長	2	NOK(株)藤沢事業場
支部長代行			副支部長代行		

監 査	事業場名		事業場名	
	1	プレス工業(株)藤沢工場	2	TOTO(株)茅ヶ崎工場

役員幹事会	事業場名		事業場名	
二役事業場	1	いすゞ自動車(株)藤沢工場 支部長代行	2	NOK(株) 湘南 R&D センター副支部長代行
労務部会	3	(株)大船軒 部会長	4	オイレス工業(株)藤沢事業場 副部会長
安全部会	5	プレス工業(株)藤沢工場 部会長	6	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場 副部会長
衛生部会	7	NOK(株) 湘南 R&D センター 部会長	8	(株)アルバック 副部会長
広報部会	9	ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社 部会長	10	TOTO(株)茅ヶ崎工場 副部会長

労務部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	(株)大船軒	6	(株)たまや
副部会長	2	オイレス工業(株)藤沢事業場	7	東海カーボン(株)湘南工場
	3	いすゞ自動車(株)藤沢工場 (いすゞ藤沢安全衛生協力会)	8	三菱電機エンジニアリング(株)鎌倉事業所 (三菱電機鎌倉地区構内事業協力会)
	4	コベルコ溶接テクノ(株) (神鋼藤沢安全衛生協力会)	9	レンゴー(株)湘南工場
	5	JX金属コイルセンター(株)		

安全部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	プレス工業(株)藤沢工場	8	東京応化工業(株)相模事業所
副部会長	2	麒麟ビバレッジ(株)湘南工場	9	トピー工業(株)神奈川製造所
	3	旭ファイバーグラス(株)湘南工場	10	日本ギア工業(株)
	4	いすゞ自動車(株)藤沢工場	11	日本精工(株)藤沢工場
	5	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	12	三菱プレシジョン(株)
	6	(株)佐賀鉄工所藤沢工場	13	ミネベアミツミ(株)藤沢工場
	7	敷島製パン(株)パスコ湘南工場	14	(株)明治 神奈川工場

衛生部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	NOK(株) 湘南 R&D センター	7	シロキ工業(株)藤沢工場
副部会長	2	(株)アルバック	8	JX金属(株)倉見工場
	3	アズビル(株)藤沢テクノセンター	9	東邦チタニウム(株)
	4	池上通信機(株)システムセンター	10	三菱電機(株)情報技術総合研究
	5	(株)荏原製作所藤沢事業所	11	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場
	6	河西工業(株)		

広報部会	事業場名		事業場名	
部会長	1	ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社	6	日産工機(株)
副部会長	2	TOTO(株)茅ヶ崎工場	7	三菱電機(株)鎌倉製作所
	3	(株)湘南ユニテック	8	メルシャン(株)藤沢工場
	4	新明和工業(株)特装車事業部寒川工場	9	モリタ宮田工業(株)
	5	デンカ(株)大船工場		

物流対策委員会	事業場名	
委員長	プレス工業(株)藤沢工場	安全部会長

産業保健活動委員会	事業場名	
委員長	いすゞ自動車(株)藤沢工場	支部長事業場

付録 1

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 藤沢支部規約

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本支部は公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（以下「本部」という）藤沢支部（以下「支部」という。）と称する。

(事務所)

第 2 条 支部の事務局は、神奈川県藤沢市におく。

(目的)

第 3 条 支部は本部方針に基づき、支部として事業場等における適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進等のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業・企業の健全な発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 支部は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 労働基準法及び関係法令の普及啓発活動の促進
- (2) 労働災害防止及び職業性疾病予防のための活動の促進
- (3) 労働安全衛生法による技能講習、特別教育等の実施
- (4) 講演会、講習会等の開催
- (5) 労働条件等に関する相談活動
- (6) 情報資料等の収集、調査・研究及び広報
- (7) その他本支部の目的を達成するために必要な事業

(事業年度)

第 5 条 支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 2 章 会 員

(会員)

第 6 条 会員は支部組織の地域に所在している事業場、支部の目的に賛同した事業場または同事業場内で構成される団体とする。

(入会)

第 7 条 会員になるには、所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、当該年度の会費を添えて支部長へ申し込み、本部理事会の（以下「理事会」という。）の承認を得なければならない。

(退会)

第 8 条 会員は所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、支部長を通じ会長に届出ることにより任意に退会することができる。

2 会員は次に該当した場合には退会したものとみなす。

- (1) 会員事業場が解散したとき
- (2) 会費の納入義務を遂行しないとき
- (3) 会員のすべてが同意したとき

(変更)

第 9 条 会員はその名称、代表者の氏名又は所在地を変更したときは、所定の「入会・退会・変更届様式」に記載し、遅滞なくその旨を支部長に届け出なければならない。

(除名)

第 10 条 会員が次に該当したときは、第 19 条に定める支部総会の決議により総会に会員の除名を求めることができる。

- (1) 支部の目的の達成、又は業務の運営を妨げたとき
- (2) 支部の規約に違反、又は名誉をき損する行為をしたと認められたとき
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき

(会費等)

第 11 条 会員は支部の事業に必要な経費に充てるため別に定める会費を納入しなければならない。

- 2 徴収した会費は、会員が退会又は除名された場合においても返還しない。

第 3 章 支部役員

(支部役員及びその員数)

第 12 条 支部に次の支部役員を置く。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 副支部長 若干名
- (3) 支部役員 4 5 名以上 6 0 名以内（支部長及び副支部長を含む）
- (4) 監査 2 名

(支部役員の任免)

第 13 条 支部役員は支部総会において選任し、又は解任する。

- 2 支部役員に欠員が生じた場合には補充役員を選任する。ただし、役員会において業務の執行に支障がないと認めたときはこの限りではない。

(支部役員の任期)

第 14 条 支部役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

- 2 支部役員は任期満了後又は辞任後も、新たな支部役員が就任するまでは引続きその職務を行う。
- 3 補欠として選任された支部役員の任期は、その前任者の残任期間とする。

(支部役員の職務)

第 15 条 支部役員は、役員会を構成し、支部業務の決定に参画する。

- 2 支部長は支部を代表し、支部業務を統括する。
- 3 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 監査は支部の業務並びに経理状況を監査する。

(支部役員の報酬等)

第 16 条 支部役員は、無報酬とする。

- 2 支部役員には、その職務執行に要する費用を払うことができる。

第 4 章 支部総会

(構成)

第 17 条 支部総会は会員をもって構成する。

(種類及び開催)

第 18 条 支部総会は通常支部総会及び臨時支部総会とする。

- 2 通常支部総会は、毎年 1 回事業年度終了後、3 カ月以内に開催する。
- 3 臨時支部総会は、必要に応じて開催する。

(招集及び議長)

第 19 条 支部総会は、支部役員会の決議により、支部長が招集する。

- 2 支部総会の招集は、開催日の 2 週間前までに会員に対して必要事項を記載した書面により通知しなければならない。
- 3 支部総会の議長は出席会員中よりこれを選出する。
- 4 会員の 10 分の 1 以上から、支部総会の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により召集の請求が支部役員にあったときは、支部長は臨時支部総会を開催しなければならない。

(支部総会の議事及び議決)

第 20 条 支部総会は、総会員数の 2 分の 1 以上の会員の出席をもって成立する。

- 2 支部総会に出席できない会員は、予め通知された事項について他の会員に議決権の行使を委任し、又は書面によって議決権を行使することができる。
- 3 支部総会の議事は出席した会員の過半数によって決議する。

(決議事項)

第 21 条 支部総会は、次の事項について決議する。

- (1) 支部役員の選任及び解任
 - (2) 予算並びに事業計画の承認
 - (3) 決算並びに事業報告に関する事項
 - (4) 規約の変更
 - (5) 会員の除名に関し、総会へ決定を求める事項
 - (6) 重要な財産の取得及び処分に関する事項
 - (7) 解散に関する事項
 - (8) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項
- 2 前項の(4)、(5)、(7)の事項については、支部会員の 3 分の 2 以上で決議する。

(議事録)

第 22 条 支部総会の議事については、議事録を作成し議長及び支部総会で選任した支部役員が記名捺印する。

第 5 章 支部役員会及び支部役員幹事会

(支部役員会)

第 23 条 支部に役員会をおく。

- 2 役員会は、すべての支部役員及び監査をもって構成する。

(議決)

第 24 条 役員会は支部役員の半数以上の出席をもって成立する。

- 2 役員会の決議は、出席者の過半数をもって行う。

(決議事項)

第 25 条 役員会は、次の事項について審議決定する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 予算並びに事業計画に関する事項
- (3) 支部運営に必要な事項
- (4) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項

(議事録)

第 26 条 役員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

(支部役員幹事会)

第 27 条 支部に支部役員幹事会をおく。

- 2 支部役員幹事会は、支部長代行、副支部長代行、第 30 条に定める常設部会の部会長ならびに副部会長、および支部長が指名した支部役員をもって構成する。

(決議事項)

第 28 条 支部役員幹事会は、次の事項について決議し支部役員会に上程する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 予算並びに事業計画に関する事項
- (3) 支部運営に必要な事項
- (4) 前各号に定めるものの他、支部長が必要と認めた事項

第 6 章 事務局及び常設部会

(事務局)

第 29 条 支部に事務局を置く。

- 2 事務局の組織・人事・服務規程等は役員会の議決を経て、支部長が定める。

(常設部会)

第 30 条 支部の事業を円滑に遂行するために労務部会、安全部会、衛生部会、広報部会を置く。
また、安全部会の下部組織として「物流対策委員会」、衛生部会の下部組織として「産業保健活動委員会」を置く。

(常設部会の運営)

第 31 条 常設部会の運営は次のとおりとする。

- 2 常設部会は、役員事業場から推薦された委員をもって構成し、部会長および副部会長は部員の互選によって決める。
- 3 常設部会の任務は次のとおりとする。
 - (1) 労務部会
 - ① 労務管理に関する事業の企画・立案
 - ② 労務教育に関する実施要領の作成
 - ③ 労務管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集
 - ④ 講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤ その他労務管理・教育にかかわる事業の計画的推進
 - (2) 安全部会
 - ① 安全管理に関する事業の企画・立案
 - ② 安全教育に関する実施要領の作成
 - ③ 安全管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集

- ④講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤物流対策委員会の後援
 - ⑥その他安全管理・教育にかかわる事業の計画的推進
- (3) 衛生部会
- ①衛生管理（環境改善を含む）に関する事業の企画・立案
 - ②衛生教育に関する実施要領の作成
 - ③衛生管理に関するテキスト・資料の選定ならびに編集
 - ④講師の選任ならびに講師団の編成
 - ⑤産業保健活動委員会の後援
 - ⑥その他衛生管理・教育にかかわる事業の計画的推進
- (4) 広報部会
- ①支部報に関する企画・立案
 - ②資料の収集ならびに原稿の依頼
 - ③支部報の編集および発行
 - ④その他広報活動の計画的推進

第 7 章 会 計

(会計年度)

第 32 条 支部の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(会計処理)

第 33 条 支部の会計処理は、本部会計処理規程に基づくものとする。

(会計責任者)

第 34 条 支部の会計責任者は支部長とし、出納管理は支部事務局長が行う。

(予算書の作成)

第 35 条 支部長は毎会計年度開始前に予算案を作成し、役員会の承認を受けなければならない。

(決算書の作成)

第 36 条 支部長は毎会計年度終了後に収支決算書を作成し、監査による会計監査及び役員会の議決を経て支部総会の承認を受けなければならない。

(経費)

第 37 条 支部の経費は会費、事業収入金、寄付金、その他をもってこれにあてる。

- 2 前項の経費は支部長が管理する。

(会費)

第 38 条 会費は別表に定める金額とする。

- 2 期中入会員の会費は別表に定める年会費を月割りにし、当年度残月数分を一括して納入する。

第 8 章 情報公開及び個人情報の保護

(情報公開)

第 39 条 支部は定款第 41 条に基づきその活動状況、運営状況、財務資料等を公開するものとする。

(個人情報の保護)

第 40 条 支部は定款第 42 条に基づき業務上知り得た個人情報の取扱いに万全を期すものとし、情

報漏えい、滅失又はき損やシステムへの不正侵入等の事故を発生もしくは発見したときは、速やかに必要な措置を講ずるものとする。

付 則

- 1 本規約に定めるもののほか、支部の運営に必要な事項は、役員会の決議により別に定める。
- 2 本規約は、支部総会の決議によって変更することができる。
- 3 本規約は平成23年4月1日より施行する。
- 4 本規約は平成30年4月1日より施行する。(第30条 常設委員会の改定)
- 5 本規約は2019年4月1日より施行する。

(第6条 会員、第7条 入会、第8条 退会、第9条 除名、第10条 会費等、第11条 届出、第27条 支部役員幹事会、第30条 常設委員会、第31条 常設委員会の運営の改定)

付録 2

会 費 に 関 す る 細 則 [別表]

第 1 条：会員の会費（公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（本部）費を含む）として
3 条の区分による金額を毎年 6 月末までに納入する。

第 2 条：公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（本部）費は本会費より支出納入する。

第 3 条：本会費は次のとおりとする。

従業員数（人）			年 額
1	～	10	7, 200
11	～	20	8, 400
21	～	30	9, 600
31	～	40	10, 800
41	～	50	12, 000
51	～	100	14, 400
101	～	150	16, 800
151	～	200	19, 200
201	～	300	24, 000
301	～	400	31, 200
401	～	500	39, 600
501	～	600	48, 000
601	～	700	60, 000
701	～	800	66, 000
801	～	900	72, 000
901	～	1000	84, 000
1001	～	1500	102, 000
1501	～	2000	120, 000
2001	～	2500	144, 000
2501	～	3000	156, 000
3001	～	3500	168, 000
3501	～	4000	180, 000
4001	～	5000	192, 000
5000	～	6000	204, 000
6001	～	7000	216, 000
7001	～	8000	228, 000
8001	以上		240, 000

付録 3

映像教材一覧表（DVD）

* 当支部会員事業場への貸出しは無料

2023. 4/1現在

No.	DVD <タイトル>	区 分		時 間 (分)	備 考 取得日
		安 全	労働衛生		
D-1	改訂労働安全衛生マネジメントシステムのあらまし	○	○	20	
D-2	新入社員の安全と健康	○	○	22	
D-3	新入社員の安全衛生 ～ルールを守って安全健康～	○	○	18	
D-4	転倒災害はこうして防ぐ ～転ばぬ先の安全の知恵～	○		17	
D-5	「はさまれ・巻き込まれ災害」はなくせる ～みんなで摘みとろう危険の芽～	○		18	
D-6	リスクマネジメント時代の「安全管理者の役割」	○	○	22	
D-7	職長教育シリーズ 第1巻 こんな時あなたならどうする？！ ～作業時間中における指導指示の効果的方法～	○		21	
D-8	職長教育シリーズ 第2巻 確認してですか 作業のポイント ～作業手順の上手な活かし方～	○		17	
D-9	職長教育シリーズ 第3巻 異常を異常として感じるか ～異常に対する職場の感性をみがく～	○		20	
D-10	職長教育シリーズ 第4巻 その作業方法で安全は守れますか ～改善ポイントの見つけ方～	○		16	
D-11	職長教育シリーズ 第5巻 作業環境の安全化に向けて ～安全で快適な職場をつくろう～	○	○	18	
D-12	職長・作業リーダーのための作業手順書作成マニュアル (リスクアセスメント対応版)	○	○	20	
D-13	リスクマアセスメント ～工作機械作業編～	○		23	2020. 1
D-14	最新—KYTの進め方 ～基礎4ラウンド法研修用～	○		23	
D-15	どんな危険がひそんでいるか 徹底訓練 ～KYT基礎4ラウンド法の進め方～	○		27	
D-16	フォークリフト作業の安全 ～点検・走行・操作～	○		25	2020. 2
D-17	事故事例から学ぶ フォークリフト作業の安全	○		20	2020. 2
D-18	日々の作業行動災害を防ぐ ～点検・確認・確認！～	○		18	
D-19	やっていますか指差呼称 第2巻 指差呼称の実践方法 ～基本とその活用～	○		15	
D-20	いまなぜ健康づくりか		○	15	
D-21	みんなで進める高齢化への対応 ～安全いきいき職場づくり～		○	20	
D-22	正しい粉じん作業の基礎知識 ～粉じんによる健康障害を防ごう～		○	33	2020. 3
D-23	安全な有機溶剤作業の基礎知識 ～有機溶剤中毒を防ぐには～		○	26	2020. 3
D-24	よい作業環境をつくる換気の基礎知識 ～全体換気・局所排気・プッシュプル換気の話～		○	37	2020. 3

映像教材一覧表（V I D E O）

* 当支部会員事業場への貸出しは無料

2023. 4/1現在

No.	V I D E O <タイトル>	区 分		時 間	備 考
		安 全	労働衛生	(分)	取得日
V-1	知っていますか安全配慮義務 ～経営者、管理者は何をすべきか～	○	○	26	
V-2	よくわかる改正労働安全衛生法 ～自律的な安全衛生管理～	○	○	20	
V-3	安全衛生マネジメントシステムの評価 ～管理の仕組みは機能していますか～	○	○	26	
V-4	リスクアセスメントの考え方、進め方 改正労働安全衛生法対応	○	○	20	
V-5	安全の人間学 ～不注意を防ぐには～		○	20	
V-6	1人KY活動のすすめ方 ～1人KYT・自問自答カードKYT～	○		25	
V-7	入門危険予知訓練（KYTで安全先取り）	○		15	
V-8	危険予知訓練4ラウンド法	○		28	
V-9	職場で活かそう新ワンポイントKYT	○		20	
V-10	クレーン玉掛作業と安全	○		18	
V-11	粉じん障害の防止と防じんマスク		○	15	
V-12	危険！！有機溶剤 ～爆発実験と取扱い方～		○	17	
V-13	VD作業の正しい進め方 ～IT時代の健康心得～		○	22	
V-14	クリーン作戦下巻 気づき・守る気・続ける気 クリーン作戦必勝法 ～4S徹底のノウハウ～	○	○	14	
V-15	マンガ職場の腰痛予防の常識		○	14	
V-16	職場で行う腰痛予防体操		○	12	